

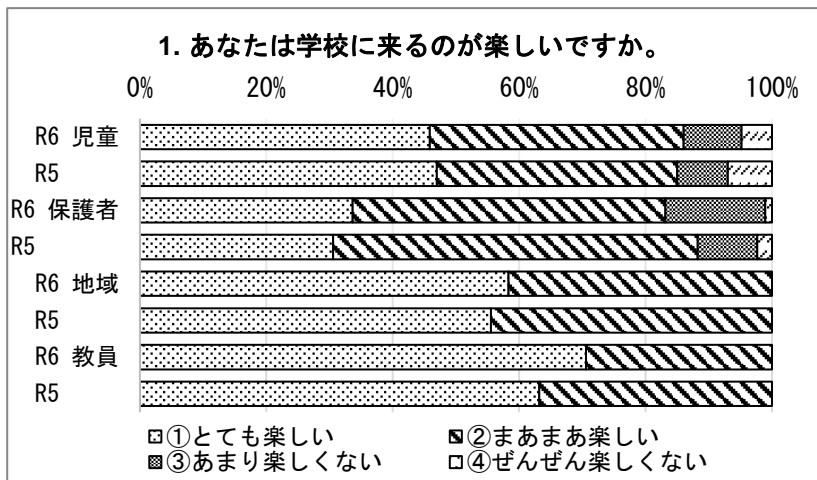


☆学校教育評価アンケート結果のお知らせ☆

【楽しい学校・分かる授業】

- 1 児：学校に来るのが楽しいですか。
 保：子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。
 地：子どもたちは楽しそうに学校に通っている。

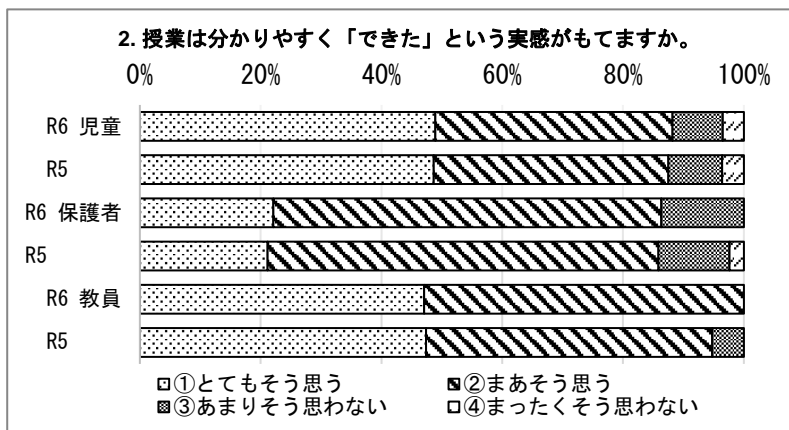
	①とても楽しい	②まあまあ楽しい	③あまり楽しくない	④ぜんぜん楽しくない
R6 児童	46%	40%	9%	5%
R5	47%	38%	8%	7%
R6 保護者	34%	49%	16%	1%
R5	31%	58%	9%	2%
R6 地域	58%	42%	0%	0%
R5	56%	44%	0%	0%



児童・保護者・地域ともに肯定的な回答の割合が83%以上あります。ただ、否定的な回答をした児童が14%いることが気になります。今後も個々の児童に寄り添いながら、学ぶ楽しさや仲間との活動の楽しさを味わうことができるよう努めます。

- 2 児：授業は分かりやすく、「できた」という実感もてますか。
 保：子どもたちは「わかる・できる・やってみたい」を実感できる授業を受けている。

	①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④まったくそう思わない
R6 児童	49%	39%	8%	3%
R5	49%	39%	9%	4%
R6 保護者	22%	64%	14%	0%
R5	21%	65%	12%	2%
R6 教員	47%	53%	0%	0%
R5	47%	47%	5%	0%

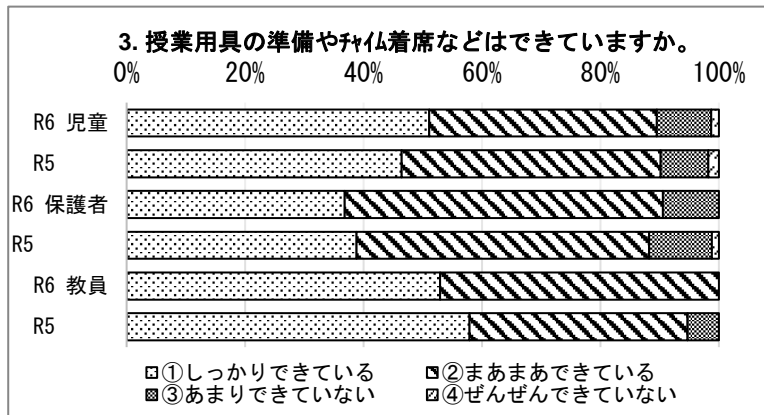


昨年度に引き続き児童・保護者ともに85%以上が肯定的な回答をしています。校内研修会等を通じて教員の授業力向上を目指すとともに、学び合う楽しさを感じられる児童の育成に努める中で、「わかる・できる・やってみたい」授業を実現できるよう、今後も学校全体で取り組んでいきます。

【社会人としての資質の育成】

- 3 児：授業準備やチャイム着席などはできていますか。
 保：子どもは授業準備やチャイム着席などの学習習慣が身に付いてきている。

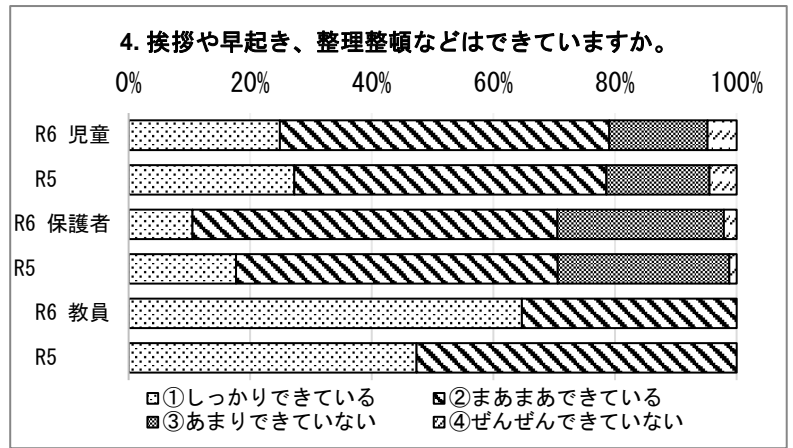
	①しっかりできている	②まあまあできている	③あまりできていない	④ぜんぜんできていない
R6 児童	51%	38%	9%	1%
R5	46%	44%	8%	2%
R6 保護者	37%	54%	9%	0%
R5	39%	49%	11%	1%
R6 教員	53%	47%	0%	0%
R5	58%	37%	5%	0%



児童・保護者ともに肯定的な回答の割合は昨年度に引き続き約90%と、大半の児童が落ち着いて授業を受けていることが分かります。この現状に甘んじることなく、学習習慣の定着を学力の向上に結び付けられるよう、さらなる授業改善に取り組んでいきます。

- 4 児：挨拶・早寝早起き・整理整頓をしていますか。
保：子どもは早寝・早起き、整理整頓等の基本的な生活習慣が身に付いてきている。
地：子どもたちはきちんと挨拶ができています。

	①しっかりできている	②まあまあできている	③あまりできていない	④ぜんぜんできていない
R6 児童	25%	54%	16%	5%
R5	27%	51%	17%	4%
R6 保護者	11%	60%	27%	2%
R5	18%	53%	28%	1%
R6 教員	65%	35%	0%	0%
R5	47%	53%	0%	0%

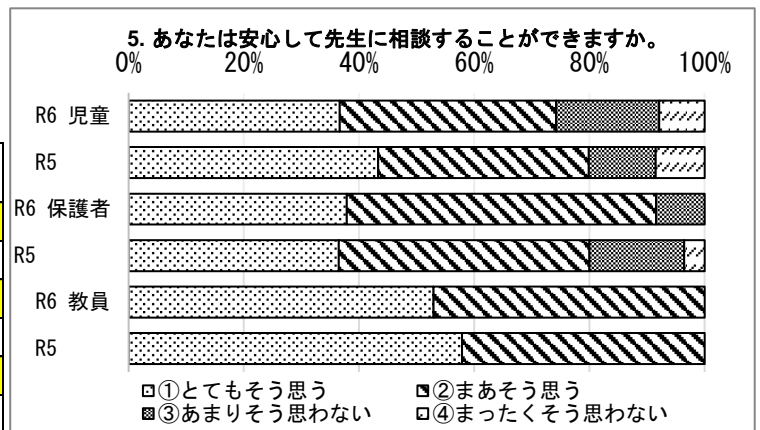


児童・保護者ともに肯定的な回答が昨年度（児童：78%、保護者：71%）と同じ割合でした。特に、睡眠時間は翌日の健康状態に大きく影響します。「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとした生活習慣の定着に向けて引き続き指導をしていきますので、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

【心の健康と安全】

- 5 児：安心して先生に相談することができますか。
保：教員は親身になって子どもの話を聞き、相談に乗っている。

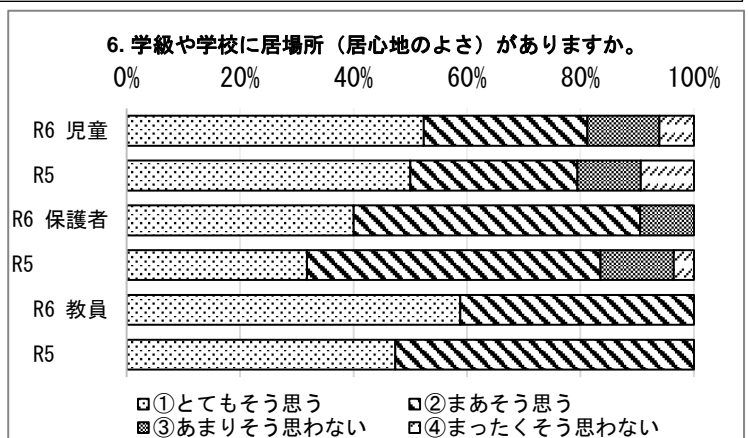
	①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④まったくそう思わない
R6 児童	37%	38%	18%	8%
R5	43%	37%	12%	8%
R6 保護者	38%	54%	8%	0%
R5	36%	44%	16%	4%
R6 教員	53%	47%	0%	0%
R5	58%	42%	0%	0%



昨年度と比べて保護者の肯定的な回答が12%増加した一方で、児童の肯定的回答の割合が6%減ったことが分かりました。授業時間はもちろん、休み時間にも一人一人の児童に目を配り積極的に話しかけるなど、児童との信頼関係醸成のために今まで以上に努めていきます。

- 6 児：学級や学校に居場所（居心地の良さ）がありますか。
保：学校は一人一人の児童を大切に学級づくり、学校づくりを行っている。

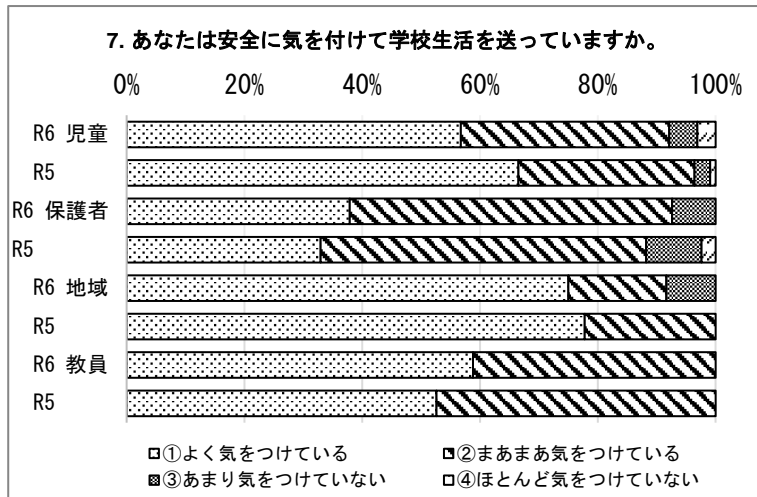
	①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④まったくそう思わない
R6 児童	52%	29%	13%	6%
R5	50%	29%	11%	9%
R6 保護者	40%	51%	9%	0%
R5	32%	52%	13%	4%
R6 教員	59%	41%	0%	0%
R5	47%	53%	0%	0%



児童・保護者ともに昨年度に比べ肯定的な回答が増加しています。また、昨年度に比べ「まったくそう思わない」と回答した児童は半減し、保護者は0%となりました。この結果に甘んじることなく、引き続き一人一人を大切に学級経営を行っていきます。

- 7 児：安全に気をつけて生活できていますか。
 保：学校は子どもの安全確保や健康管理のための取組を行っている。
 地：学校は登下校時の安全対策（不審者・交通・災害）などに対して、地域との連携で子どもたちの安全を守っている。

	①よく気をつけている	②まあまあ気をつけている	③あまり気をつけていない	④ほとんど気をつけていない
R6 児童	57%	35%	5%	3%
R5	67%	30%	3%	1%
R6 保護者	38%	55%	7%	0%
R5	33%	55%	9%	2%
R6 地域	75%	17%	8%	0%
R5	78%	22%	0%	0%
R6 教員	59%	41%	0%	0%
R5	53%	47%	0%	0%

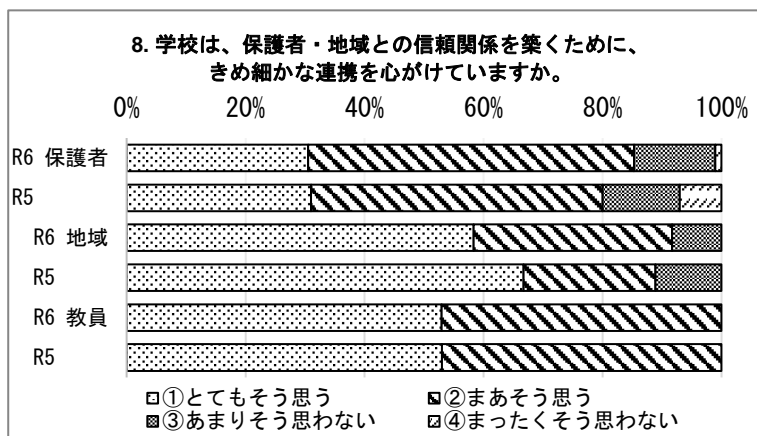


肯定的な回答の割合が児童・保護者・地域ともに約90%と、昨年度とほぼ同じ結果でした。南海トラフ地震が心配される昨今、登下校中の災害（大地震等）についても児童の危機意識を高め、いざというときに児童自らがとっさの判断をすることができるよう、よりよい指導を行っていきたいと思います。

【地域との連携】

- 8 保：学校は、保護者・地域との信頼関係を築くためにきめ細かな連携を心がけている。
 地：学校は、地域行事等に積極的に関わろうとしている。

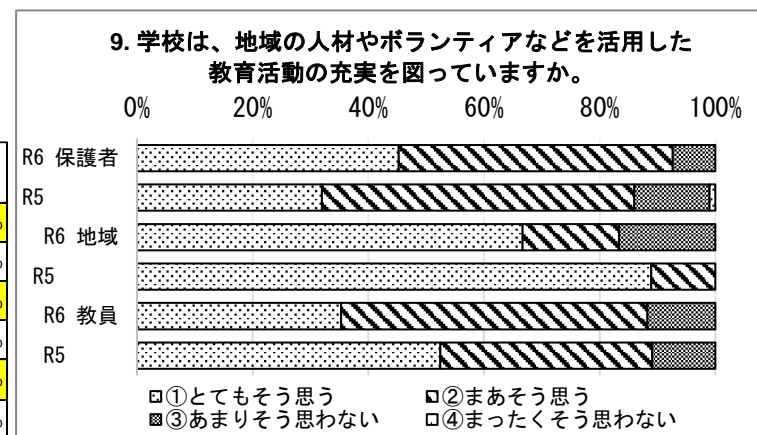
	①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④まったく思わない
R6 保護者	31%	55%	14%	1%
R5	31%	49%	13%	7%
R6 地域	58%	33%	8%	0%
R5	67%	22%	11%	0%
R6 教員	53%	47%	0%	0%
R5	53%	47%	0%	0%



肯定的な回答をした保護者は85%、地域は92%と、昨年度に比べていずれも増加しています。今後も保護者・地域の皆様との連携を密にするとともに、可能な限り地域行事等にも参加していきたいと思います。

- 9 保・知：学校は、地域の人材やボランティアなどを活用した教育活動の充実を図っている。

	①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④まったく思わない
R6 保護者	45%	47%	7%	0%
R5	32%	54%	13%	1%
R6 地域	67%	17%	17%	0%
R5	89%	11%	0%	0%
R6 教員	35%	53%	12%	0%
R5	53%	37%	11%	0%



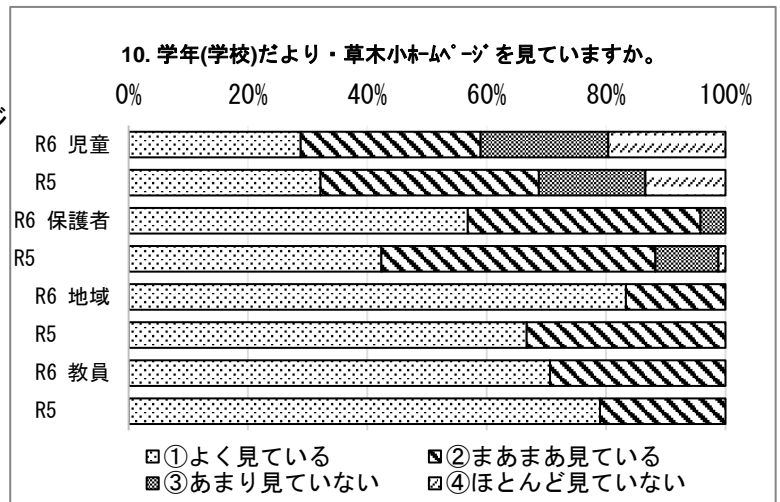
昨年度に比べて保護者の肯定的な回答が7%増加した一方で、地域の2割弱の方から否定的な回答をいただきました。今後は保護者だけでなく地域の方々にも来校していただく機会を設定し、本校の教育活動を参観していただけるよう、情報発信をしていきたいと思います。

【 情報公開 】

10 児：学年だより・学校だより・ホームページを見ていますか。

保・地：学校は学年通信・学校だより・ホームページ等で学校の情報を積極的に伝えている。

	①よく見ている	②まあまあ見ている	③あまり見ていない	④ほとんど見ていない
R6 児童	29%	30%	21%	20%
R5	32%	37%	18%	13%
R6 保護者	57%	39%	4%	0%
R5	42%	46%	11%	1%
R6 地域	83%	17%	0%	0%
R5	67%	33%	0%	0%
R6 教員	71%	29%	0%	0%
R5	79%	21%	0%	0%



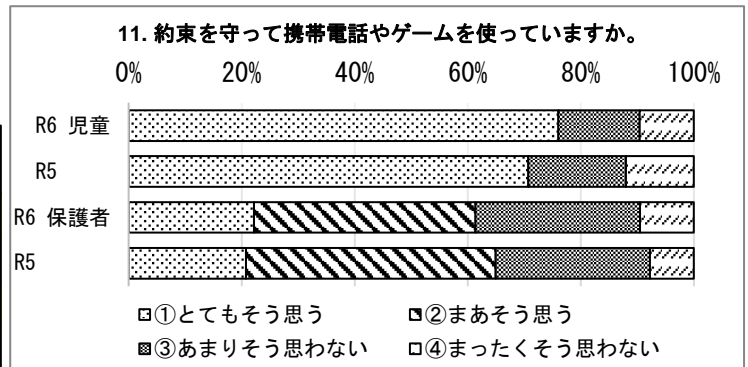
肯定的な回答が昨年度（保護者：88%、地域：100%）に比べると、保護者が8%増加する（地域は100%）など、効果的な情報発信をすることができたと考えられます。一方で、児童の肯定的な回答が10%減少したことは、学年だよりを紙媒体で配付しなくなったことが原因の一つと考えられます。今後もより魅力ある情報発信を心がけていきます。

【 その他（情報モラル） 】

11 児：約束を守って携帯やゲーム等を使っていますか。

保：子どもは約束を守って携帯やゲームを使っている。

	①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④まったくそう思わない
R6 児童	76%	0%	14%	10%
R5	71%	0%	17%	12%
R6 保護者	22%	39%	29%	9%
R5	19%	40%	25%	7%



87%の児童がスマートフォンや通信機能のついたゲーム等を使っているようです。肯定的な回答の割合については、昨年度（児童：71%、保護者：59%）に比べていずれも多少の増加は見られますが、依然として否定的な回答が目立ちます。学校としては、今後も外部講師によるネットモラル教室や保健だより等を活用した啓発活動に力を入れていきます。

< 草木小学校の今後の取組 >

(1) 豊かな心を育む教育を推進します。

- ・授業時間だけでなく休み時間にも極力児童と接することで児童との信頼関係を築き、安心して相談できる雰囲気をつくります。また、道徳教育により一層力を入れることで児童の自己肯定感・自己有用感を高め、一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう、全力を尽くします。

(2) 「わかる・できる・やってみたい」を実感できる、確かな学力の定着を目指します。

- ・授業のねらいを明確にし、児童の興味・関心を高め、指導内容や方法を工夫・改善することで、児童が主体的に学び合い、高め合うことができるような授業づくりに力を入れます。

(3) 信頼される開かれた学校づくりに力を入れます。

- ・地域人材や教材を活かした学習を積極的に取り入れ、地域との協働による教育活動をさらに活性化させます。また、そうした活動の様子をホームページや学校だより等を通じて、タイムリーに保護者・地域に発信していきます。

3月5日（水）に開催した第3回学校運営協議会では、「携帯の所持率は学年別だとどうなのか。高学年が高いのか」「アンケート結果は児童にもフィードバックしているのか」等のご質問や、「かなり多くの児童が携帯（スマホ）を持っていることが分かった」「先日、スマホの画面を見ながら自転車を引いて、道の真ん中を歩いている子どもがいた。周りが見えておらず危険である」等のご意見をいただきました。

今後も、ご家庭、地域の方々との連携を密にしながら、児童一人一人の成長を全力でサポートしてまいります。引き続き本校の教育活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。